

## 第 142 回 八大学工学関連研究科長等会議 議事録 (案)

日 時：2021 年 9 月 17 日 (金) 14:00～17:05

場 所：オンライン

出席者：別紙出席者名簿のとおり

### 議題

1. 第 141 回八大学工学関連研究科長等会議議事録確認
2. 2021 年度第 1 回運営委員会
3. 博士フォーラム (第 1 分科会)
4. 就活問題 (第 2 分科会)
5. メッセージ発信のためのデータ収集 (第 3 分科会)
6. ジョブ型インターンシップ
7. EAJ からの提言
8. NEDO との交流会
9. 講演会

講演 1 「東日本大震災の被災実態と今後の防災－学際融合と社会貢献を目指して」

東北大学災害科学国際研究所長 (津波工学教授) 工学研究科兼務総長補佐 今村文彦

講演 2 「博士後期課程学生支援について」

文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課人材政策推進室長 三輪善英

### 配付資料

資料 第 142 回八大学工学関連研究科長等会議出席者

資料 142-00 第 142 回八大学工学関連研究科長等会議議題表

資料 142-01 第 141 回八大学工学関連研究科長等会議議事録 (案)

資料 142-02 2021 年度第 1 回運営委員会議事録 (案)

資料 142-03 2021 年度博士フォーラム実施計画

資料 142-04 2021 年度就活問題への取り組みについて (案)

資料 142-05 学生の流れの現状とキャリアパスの調査 (案)

資料 142-06 ジョブ型研究インターンシップに関する意見 (まとめ)

資料 142-07 EAJ 報告書\_2020-04

資料 142-08 NEDO-八大学工学系連合会交流会

### 開会の辞

植松会長より、第 142 回八大学工学関連研究科長等会議の開会宣言があった。

## 議長選出

事務局より、本会議の議長選出について説明があり、幹事校である東北大学の湯上大学院工学研究科長が議長に選出された。

## 会議日程及び資料

事務局より、本日の会議日程と配付資料について説明があった。

## 議事要旨

### 1. 第141回八大学工学関連研究科長等会議議事録確認

植松会長より、資料142-01に基づき2021年4月23日にオンライン開催した第141回八大学工学関連研究科長等会議の議事録確認が行われた。

### 2. 2021年度第1回運営委員会

植松会長より、資料142-02に基づき2021年6月21日に2021年度第1回運営委員会をオンライン開催し、各分科会の活動について紹介されたことが報告された。

### 3. 博士フォーラム（第1分科会）

幹事校の北海道大学瀬戸口大学院工学研究院長及び中村運営委員より、資料142-03に基づき今年度の博士フォーラムについて、日程、開催形式、企画内容等の説明があり、各大学に対して参加要請があった。

### 4. 就活問題（第2分科会）

東京工業大学神田委員より、資料142-04に基づき就活問題への取組及びアンケート結果について説明があり、以下のとおり意見交換が行われた。

- ・昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を十分には分析できなかった。
- ・3事業を継続実施する。
- ・アフターコロナに向けた見直し・修正を行い、アンケートを実施する。
- ・活動の計画案について検討が必要。

### 5. メッセージ発信のためのデータ収集（第3分科会）

東京大学鈴木教授より、資料142-05に基づき八大学のメッセージ発信に向けたデータ収集の必要性の説明とそれに対する協力依頼が行われた。

これらを受けて、以下のとおり意見交換が行われた。

- ・ダイバーシティ全体の流れを把握する必要。
- ・女子留学生の数を把握する必要。
- ・キャリアパスの実態を把握する必要。

## 6. ジョブ型インターンシップ

事務局より、資料 142-06 に基づきジョブ型研究インターンシップの状況及び各大学から寄せられた意見・課題等について説明があった。

また、植松会長より、午前の工学部長会議において議論された主な内容の紹介があった。

次いで、文部科学省高等教育局中澤企画官に陪席いただき、以下のとおり意見交換が行われた。

- ・第 6 期基本計画に博士人材の活躍が挙げられており、博士学生本人にとって良いものになるようにしていきたい。
- ・学生の個人情報にも関連するので、企業からのスカウトが不要である場合には、学生自らの判断で断ることができるようにしたい。
- ・大学のコーディネーターが関与することで、より良いマッチングにしていきたい。
- ・留学生を想定し、英語対応を準備している。
- ・今年の年末にトライアルとしてマッチングが行われる。
- ・雇用が始まるのは年明けになる。
- ・提供テーマ数は、概ね 30 より上回る見込みであるが、10 月 1 日に公表される予定。45 社は公表しているが、トライアルではすべて出す訳ではない。

## 7. EAJ からの提言

事務局より、資料 142-07 に基づき EAJ からの提言の概要及びその経緯について説明があり、以下のとおり意見交換が行われた。

- ・理工系人材育成に関する産学官円形会議に八大学が呼ばれて意見陳述したことがきっかけ。
- ・大学で教育する人材と、産業界で必要とする人材の間に乖離があるが、未来をデザインして教育に反映させるバックキャストの主張から 5 つの提言。
- ・英文版で海外にも発信できる。

## 8. NEDO との交流会

事務局より、資料 142-08 に基づき NEDO との交流会の開催予定について案内があり、当日まで申込みを受け付ける旨の説明があった。

## その他

事務局より、パンフレットが完成し、紙のほか Web でも見ることができる旨の説明があった。

## 9. 講演会

湯上議長の司会により、2 件の講演が行われた。

### 講演 1

東北大学災害科学国際研究所長（津波工学教授） 工学研究科兼務総長補佐 今村文彦氏より、「東日本大震災の被災実態と今後の防災－学際融合と社会貢献を目指して」と題して、東日本大震災発生から 10 年間の経緯と、防災・減災の新しい動きについての講演があり、その後、川崎市との取組、首都圏と北海道での対策の違いなどに関する質疑応答が行われた。

### 講演 2

文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課人材政策推進室長 三輪善英氏より、「博士後期課程学生支援について」と題して、学生への経済支援等の動向についての講演があり、その後、留学生に対する支援、ベンチャー企業で活躍する人材、アカデミアとしての若手研究者支援、企業の博士受入れ体制などに関する質疑応答が行われた。

事務局より、今後の常設会議開催の幹事校について確認があった。次回春の常設会議については、幹事校の東京大学有馬大学院新領域創成科学研究科副研究科長より 4 月 22 日（金）に KKR ホテル東京で開催予定である旨、来年秋の常設会議については、幹事校の北海道大学瀬戸口大学院工学研究院長より 9 月 16 日（金）に京王プラザ札幌で開催予定である旨の案内があった。

湯上議長より、以上をもって、第 142 回八大学工学関連研究科長等会議を閉会することの宣言があった。

最後に、事務局より、2021 年度秋の常設会議の閉会宣言があった。

以上